

日本学童保育学会 第14回研究大会

第14回日本学童保育学会研究大会実行委員長
元東京家政学院大学 齋藤 史夫

日本学童保育学会第14回研究大会は、東京家政学院大学千代田三番町キャンパスを会場にてハイブリッド形式で開催されます。

東京家政学院大学千代田三番町キャンパスは東京都千代田区三番町に位置し、最寄りの市ヶ谷駅から徒歩8分、新宿や渋谷などへも電車で約10分ほどの便利な場所にあります。



キャンパスから徒歩圏内には、美しいお堀と緑豊かな散策路と春の桜で有名な千鳥ヶ淵公園や北の丸公園・靖国神社などがあります。日本武道館もある北の丸公園は、かつては江戸城の北の丸があった場所で、広さ約200,000平方メートルと広々とした敷地を誇り、四季折々の草花が楽しめます。公園の近隣には重要文化財に指定されている「旧江戸城田安門」や「清水門」などの史跡、さらに「東京国立近代美術館」や「科学技術館」などの文化施設があります。またキャンパス周辺には美味しい飲食店がたくさんあります。和食、中華、洋食、カフェ、そして珍しいトルコ料理までさまざまな料理を楽しんでください。

こども家庭庁が設置され「こども大綱」も閣議決定、そして「こどもの居場所づくり指針」や「放課後児童対策パッケージ」が出されるなど、学会が直面する研究課題もたくさんあります。本当に子どもたちの権利が保障され生き生きとした毎日の生活が実現する方向に進むのか、学会で大いに研究・論議することが求められています。

ぜひ多くの方に、研究大会への参加と自由研究発表・自主企画への積極的応募をしていただけるようお願いします。初夏の素敵な季節にみなさんと会えることを楽しみにしています。



■日 時：2024年6月22日（土）12時00分～

23日（日） 9時00分～

■会 場：東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス

（〒102-8341 東京都千代田区三番町 22）

■日 程

6月22日(土)[第1日目]

12:00～ 受付

12:30～15:45

課題研究Ⅰ「こどもの居場所づくり」と学童保育

(4階 1407 教室・オンライン参加可能)

【趣旨】

「令和6年能登半島地震」は、子どものたちの居場所とそのサポート体制が脆弱であるとともに、社会的に優先順位が低いものであることを明らかにしました。本課題研究では、今求められている子どもたちの居場所とはどのようなものか、学童保育がつくりあげてきた放課後の子どもの居場所とはどのようなものか等について、国の政策動向と重ねながら議論します。

国は、2021年12月、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」において「こどもが安心して過ごすことができる場の整備に関する事務を所掌する」こども家庭庁を設置することを決め、2023年4月1日にこども家庭庁が発足されました。同日には子どもの権利条約の精神も位置づけられた「こども基本法」が施行され、2023年12月22日、従来の「少子化社会対策大綱」「子供・若者育成支援推進大綱」「子供の貧困対策に関する大綱」を一元化した「こども大綱」と「こどもの居場所づくりに関する指針」が定められました。

「こどもの居場所づくりに関する指針」は「こどもの居場所」を物理的な「場」だけではなく、遊びや体験活動、オンライン空間といった多様な形態をとり得るものとした上で、「その場や対象を居場所と感じるかどうかは、こども・若者本人が決めることであり、そこに行くかどうか、どう過ごすか、その場をどのようにしていきたいかなど、こども・若者が自ら決め、行動する姿勢など、こども・若者の主体性を大切にすることが求められる」と述べています。そのため、「こどもの居場所づくり」は「こども・若者の視点に立ち、こども・若者の声を聴きながら居場所づくりを進めることが必要」であり、「様々なニーズや特性を持つこども・若者が、身近な地域において、各々のライフステージに応じた居場所を切れ目なく持つことができる」ようにすることを求めています。

このような「こどもの居場所づくりに関する指針」が求める「居場所づくり」は、学童保育を通して実現しようとする子どもたちの放課後の居場所づくりと同じものを目指しているのでしょうか。本課題研究では、国が推進する「こどもの居場所づくり」について共通理解した上で(植木信一氏)、能登半島地震の被災地での学童保育の取組から求められる「こどもの居場所」について(鈴木瞬氏)、学童保育がつくり出してきた「放課後のこどもの居場所」について(執印由里子氏)、そして、子どもの権利を保障する居場所づくりについて(森本扶氏)ご報告をいただき、議論を深めていきます。

【報告者】(発表題目はいずれも仮題)

- ・植木 信一(新潟県立大学) 居場所指針について
 - ・鈴木 瞬(金沢大学) 災害時のこどもの居場所づくりと学童保育の役割
 - ・執印 由里子(神奈川県指導員) 明日も行きたい学童保育
 - ・森本 扶(埼玉大学等・非)児童館研究の成果を踏まえた子どもの権利を保障する居場所づくりについて
- 【コーディネーター】住野 好久(中国学園大学)

16:00～17:00 自主企画

17:15～18:15 総会(理事選) 4階 1407 教室

18:30～20:00 懇親会 4階ローズホール

6月23日(日)[第2日目]

9:00～ 受付

9:30～12:00 自由研究発表(1分科会のみオンライン参加可能)

- ・発表時間は、個人研究(発表20分、討議10分)、共同研究(発表30分、討議15分)です。
- ・発表希望者は、後述する「自由研究発表申し込み方法」をご覧ください。

12:30～13:20 若手会員のためのラウンドテーブル(オンライン参加可能)

田嶋 大樹 会員(東京学芸大学)より

「これまでのご経歴と、現在のご研究についての話題提供」

初開催!!若手研究者、そして新たに実践研究に挑戦しようとしている指導員会員のみなさんとともに、これからの学童保育研究のあり方を議論できるような場となっていくことを目指します。

13:30～16:00

課題研究Ⅱ 学童保育指導員の専門性と専門職コミュニティの課題
～トラウマ・インフォームド・ケアの問題に視点をあてて～

(4階 1407 教室・オンライン参加可能)

【趣旨】

日本学童保育学会は、毎年の研究大会において、学童保育実践に焦点をあてた課題研究(シンポジウム)を開いてきました。特に、近年は、障害、特に発達障害をもつ子どもや困難な養育環境に置かれてきた子どもと向き合う学童保育実践(報告)と、それに対する理論的応答をシンポジウム形式で実施してきました。

今回は愛着障害やトラウマを抱えた子どもたちに関わる学童保育実践について、学童保育指導員がうける傷つきや困難さを、指導員が専門職として支えあい、育ちあうコミュニティ形成の課題に着目してみたいと思います。

「子どもが好き」と思って新しくこの職についたはずなのに、子どもに傷つけられ、自分も自分の子ども観も否定され、戸惑うような事態は頻繁に生じてきます。

とりわけ、その子どもが何らかの原因で適切な愛着の関係を形成できる育ちをしてこれなかった場合や、DVの目撃など、トラウマを抱えるほどの養育環境で育ってきた場合、その子どもが指導員や仲間集団の中で表出する激しい問題行動を理解するための知やスキルがなければ、また、その子との関わりの中で生じる傷つきを支え合っていけるような職員のコミュニティ、専門的な助言やコンサルテーションがなければ、指導員がどんどん追い詰められ、結果として離職に至ってしまうことも少なくありません。

ましてや、管理主義的な指導を求める管理職のもとでは、自分が望まないような子どもへの関わりを強要され、さらに苦境に立たされていくということもあるでしょう。

大げさな言い方かもしれませんが、大人を試し傷つけるような言動をしてくる子どもを理解し、学童保育指導員として生き残る(=成長していく)には、専門職としてのコミュニティやコンサルテーションが必要であり、それを可能にする条件整備が必要です。

もちろん、そのような理想的な条件がどこかに転がっているわけではありません。厳しい条件のなかでも、それを一步一步前にすすめてきた実践から学ぶ必要があります。

今回は、2人のベテラン指導員の実践報告と、研究者からの問題提起を軸に、この課題に取り組んでいきます。

【実践報告】

吉岡 美保(福岡県指導員) 深刻な愛着の問題を抱える親子への支援をめぐる職員間の葛藤
河野 伸枝(埼玉県指導員) 人とのつながりのなかで傷ついた子どもの回復を支える

【問題提起】楠 凡之(北九州市立大学) 学童保育におけるトラウマ・インフォームド・ケアを考える
【コーディネーター】石原 剛志(静岡大学)

■ 大会参加費

□大会参加費(2日間) 会員3,000円 非会員4,000円 学生はそれぞれの半額。

(1日のみ) 会員2,000円 非会員3,000円 学生はそれぞれの半額。

□現地にて参加される方は、当日、参加費をお支払ください。おつりのないようご準備ください。

□オンラインでの参加を希望する方は、参加申込みを行った上で、下記の学童保育学会の口座に、**6月20日(木)**までに参加費をお支払いください。

【ゆうちょ銀行 総合口座 加入者名：日本学童保育学会】

・ゆうちょ銀行口座間の場合→ 記号：14130 番号：89883251

・他金融機関からの場合 → 店名：418 普通 口座番号：8988325

■ 大会参加申し込み(締め切り6月20日)

□大会に参加される方は、大会前日の**6月20日(木)**までに必ず事前に参加申し込みをして下さい。

□参加申し込みは右のQRコード又は下記URLから「参加申込フォーム」にアクセスして、必要事項をご記入下さい。

研究大会参加申込フォーム



<https://forms.gle/aPMhgBgHm6qYcnNK7> (学会HPからもアクセスできます。)

□オンラインでの参加も可能です。ただし、オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表のオンライン分科会、若手会員のラウンドテーブルのみの参加となります。オンライン参加希望の方は、「参加申込フォーム」にて申込み後、必ず参加費を事前にお支払いください。参加費の支払いを確認できた方にのみ、事前にZOOM情報をお送りいたします。

□**6月20日(木)**までに必ず参加申し込みと参加費の支払いをお願いします。

□なお、懇親会の参加をご希望される場合は**5月末**までにお申し込みをお願いいたします。

■ 自由研究発表申し込み方法(締め切り5月12日)

□自由研究発表者は、日本学童保育学会会員(入会申請中も可)であることが要件です。現在会員でない方で自由研究発表を希望する場合は、発表申し込みと同時に、学会入会申し込みをして下さい。学会入会申し込みについては、日本学童保育学会事務局にお問い合わせください。入会案内・規約・申込書等は学会HPでも入手できます。

□発表希望者は、**5月12日(日)**までに以下の「発表申込フォーム」よりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/XAzPxyPAnCe5NpqY9> (学会HPからもアクセスできます。)

■『発表要旨集』の提出について(締め切り6月5日)

- ☐ 自由研究発表者は、『発表要旨集』に掲載する原稿を作成し、6月5日(水)(必着)までに大会実行委員会宛にご提出下さい。
- ☐ 以下より、執筆要領をダウンロードし、その様式に従って作成して下さい。
<https://x.gd/NqkWM> (学会HPからからもアクセスできます。)
- ☐ 作成した発表要旨は、下記の「自由研究発表要旨提出フォーム」にて提出ください。提出の際、2種類のファイル(ワープロの文書ファイルとPDFファイル)を送付してください。
<https://forms.gle/39RBCLequoQwDDQ58> (学会HPからからもアクセスできます。)
- ☐ 提出いただいた原稿は、そのまま発表要旨集に印刷させていただきます。
- ☐ 締め切りまでに提出されない場合は、掲載いたしませんので、ご了承下さい。

■「自主企画」について(申し込み締め切り5月12日)

- ☐ 研究大会の新しい試みとして、会員の企画によって学童保育研究・実践について交流する時間を設定します。登壇者は非会員も可としますが、大会参加費を支払うものとします。
- ☐ 企画希望者は、5月12日(日)までに以下の「自主企画申込フォーム」よりお申し込み下さい。
<https://forms.gle/oRiGky9YWErRqTEcA> (学会HPからからもアクセスできます。)

■「懇親会」について(申し込み締め切り5月31日)

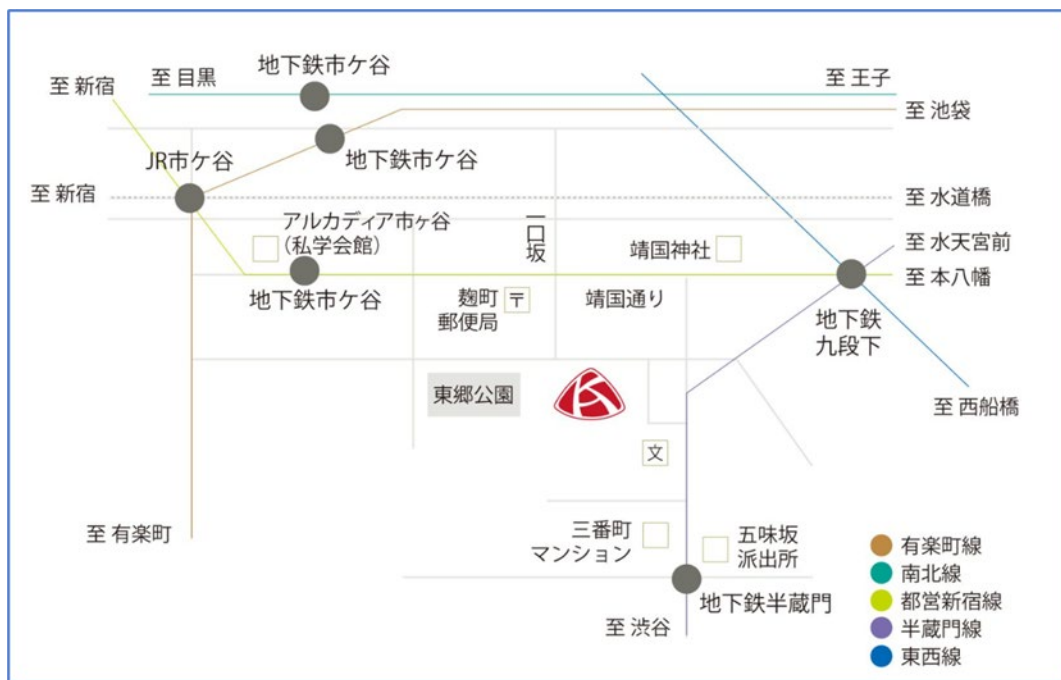
- ☐ 大会1日目6/22(土)18時半から懇親会を行います。事前申し込みが必要です。
- ☐ 会場は同会場内(東京家政学院大学1号館)4階ローズホール(カフェテリア)です。
- ☐ 参加費は、5000円です。当日会場にてお支払いいただきますようお願い申し上げます。
- ☐ 懇親会への参加希望者は、5月31日(金)までに、前ページの「大会参加申込フォーム」よりお申し込み下さい。
- ☐ 久々の懇親会開催となります。ぜひみなさまふるってご参加ください。

■ 会場までのアクセス

東京家政学院大学 千代田 3 番町キャンパス

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地

- ・市ヶ谷駅（JR 中央線・総武線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ南北線、都営地下鉄新宿線）
下車 徒歩約 8 分（地下鉄 A3 番出口）
- ・半蔵門駅（東京メトロ半蔵門線）下車、徒歩約 8 分（5 番出口）
- ・九段下駅（東京メトロ東西線、都営地下鉄新宿線）下車、徒歩約 12 分（2 番出口）



東京家政学院大学千代田三番町キャンパスまでのアクセス方法の詳細は、下記の大学 HP をご覧ください。

<https://www.kasei-gakuin.ac.jp/access/>

■ 駐車場について

駐車場はありません。公共交通機関にてお越しください。

■ 昼食について

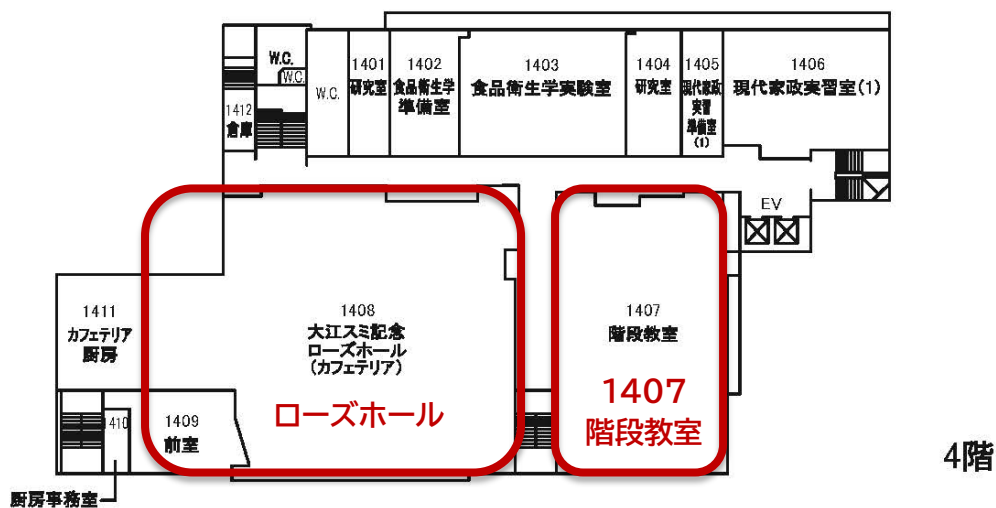
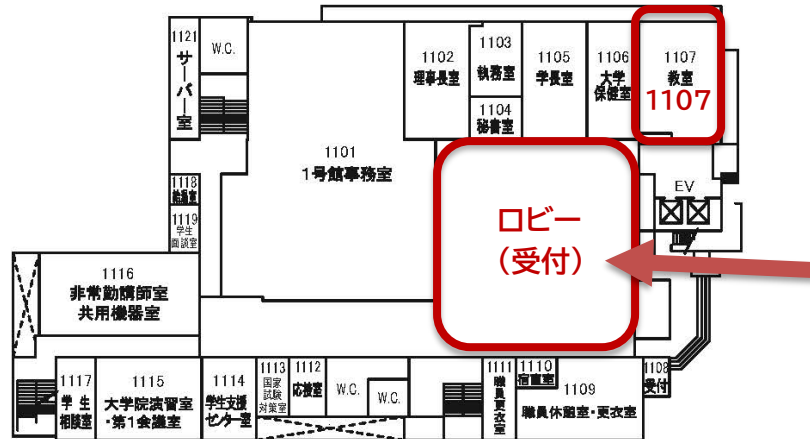
学内の食堂は利用できません。大学周辺のコンビニや飲食店をご利用ください。

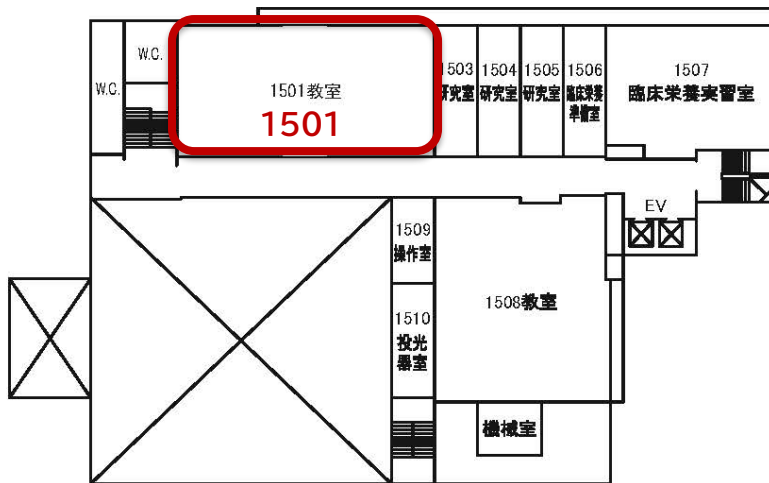
■ 会場図

千代田三番町キャンパス案内図

令和5年4月現在

1号館





5階



6階



7階

<問い合わせ先>

□第 14 回大会の参加・発表等に関すること

第 14 回日本学童保育学会研究大会実行委員会 委員長 齋藤 史夫

E-mail : f.saito (at)kasei-gakuin. ac. jp ※ (at) は @ に置き換えて下さい。

□学会・入会・会員資格等に関すること

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 番地 京都教育大学教育学部 松本歩子研究室気付

日本学童保育学会事務局 事務局長 松本歩子 E-mail : jimukyoku@gakudouhoikugakkai. com

<学会HP>

<http://www.gakudouhoikugakkai. com/>